

令和5年度 4歳児 「5歳進級に向けて」

1. 期間 2月～3月

2. 設定の理由

1学期には、好きな遊びの中で5歳児の遊びに招待してもらって、~~5歳児と~~関わりをもつ中で、少しずつ互いに親しみをもち始める。また、忘れ物を届けてもらったり、困った時に、「大丈夫？」と声をかけてもらったりして、5歳児を身近に感じたり優しさを感じたりするようになる。

2学期には、運動会で、リズム表現でブリッジや側転の技に挑戦する姿、自分達でリレーの用意をする姿、リレーで懸命に走り、バトンを繋ぐ姿、~~ボールや縄、フープなどいろいろな技に挑戦する姿~~など、5歳児の頑張りを見て、憧れや来年への期待を感じる。また、5歳児がたき火をして焼き芋を焼き、届けてくれたものを食べたり、お店屋さんごっこに招待してもらい、案内をもらって作ったものを買ったり、ケイドロをして一緒に遊んだりする中で、5歳児と過ごす楽しさや5歳児の気遣い、5歳児とのつながりをより感じるようになる。

3学期には、5歳児が発表会に向けてグループで取り組んでいるのを見たり、発表会の前日に見せてもらったりして、馴染みのある5歳児も含めて、頑張っていることを感じたりすごいと思ったりするようになる。そして、発表会を終えて5歳児がもうすぐ幼稚園を修了すること、自分達も年長組に進級することを知ると、年長児のためにしたいこと、伝えたいこと教わりたいことを考えるようになる。

そこで、大きくなった自分たちの成長を感じたり、誇らしく思ったり、年長組になることを楽しみにしたりする気持ちを持ち、修了していく5歳児のために、お祝いの気持ちをもってあげたいと思うことができるよう、5歳児との思い出を振り返り、5歳児への様々な気持ちを感じながら、その思いを言葉にして伝える機会を作ったり、修了に伴う看板や贈り物を心を込めて作る機会を作ったり、うさぎの世話の仕方を教わったりしたいと考える。

3. ねらい

- | | |
|--|--------------------|
| ① 4月から年長組になることやうさぎの世話をするを楽しみにしたり、うさぎの世話の仕方を知っておきたい、 <u>新しい年少児</u> 、年長児をお祝いしたい、こんな年長児になりたいと思ったりする。 | 自ら決める・選ぶ |
| ② もうすぐ5歳児が修了していくことや、次は自分達が年長組になることを知り、大きくなった自分を感じたり、誇らしく思ったり、嬉しく思ったりする。 | 自分に満足する |
| ③ うさぎの世話の仕方を知って、自分達がすることに自信をもつ。 | 自分に満足する |
| ③ 5歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを <u>思い出してつながりを喜んで感じたり</u> 、5歳児に対しての感謝の気持ちを感じたりする。 | 他者という喜びを感じる |
| ④ 5歳児がうさぎの世話や焼き芋、お店やさんを頑張ってくれたことを思い出したり、発表会を見せてもらったり、一緒に遊んだりして、5歳児の頑張りや優しさを感じ、嬉しく思ったり憧れたりする。 | 他者のことを知る |
| ⑤ お別れ会修了式 でお祝いや感謝の気持ちなどを伝えようと思い、伝えたいことを考えて言おうと <u>する。したり、どうすれば伝えたい気持ちが伝わるか考えてやってみたりする。</u> | 自分のことを伝える |
| ⑥ 5歳児に喜んでもらえるように、修了に向けてのお祝いの気持ちを持ち、送辞の言葉を心を込めて言おうとしたり、贈り物や式の看板を作ってあげたいと思ったりする。 | 他者のことを考えて行動する |
| ⑦ 送辞の言葉を、みんなで心を込めて気持ちよく伝えられるように、 <u>するに</u>
<u>はどうすればいいのか考えたり考えたことや友達が考えたことを取り入れてやってみたりしようとする</u> 言葉を覚えて言おうとしたり、友達と息を | 人ものごとをすすめる |

合わせようとしたりする。

- ⑧ うさぎの世話について関心をもち、居心地がよくなるための世話の仕方を知らせてもらい、世話をしようとしたりする。 生き物・いのちをみつめる
- ⑨ 春をイメージしたり春を感じたりしながら春の生き物や植物の飾りを作ることを楽しむ。 造形にあらわす
- ⑩ 看板の文字に興味をもったり文字の特徴を感じたり必要な文字を考えたりして、看板の文字を書くことを楽しむ 語彙・語句を活用する

4. 展開

もうすぐ5歳児が修了し、自分達が年長組になることを知り、5歳児への憧れや大きくなった自分を感じる

A【5歳児の発表会を見せてもらう】

- ・5歳児の発表会を見ることを楽しみにする
- ・発表会を見せてもらう

5歳児を送るため、新しい年少児にできることをする

B【贈り物を作る】

- ・ペン立ての模様を描く

C【5歳児を送る言葉(送辞)を考える】

- ・修了式に参加することを知る
- ・5歳児との思い出を振り返ったり、気持ちを出し合ったりする
- ・送辞の言葉をみんなで繰り返し言う

D【修了式と入園式】の看板を作る】

- ・看板を見る
- ・文字を読んだり書いたりする
- ・飾りを作る

5歳児がしてくれていたことを自分達がしようとする

E【うさぎの世話を引き継ぐ】

~~・もうすぐ5歳児が修了していくことを知る~~

- ・5歳児がしているうさぎの世話を見たり、教えてもらったりする

5歳児を送り、大きくなった自分を感じながら年長クラスへの期待をもつ

G【5歳児の環境を体験する】

- ・5歳児の園庭に行き遊ぶ
- ・5歳児の保育室を見せてもらう

F【修了式に参加する】

- ・送る言葉(送辞)を言う
- ・年長児のお別れの言葉を聞く
- ・年長児の歌を聴く
- ・贈り物を渡す

A【5歳児の発表会を見せてもらう】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・発表会を見せてもらう	○5歳児の発表会を見て、5歳児の頑張りや	◎5歳児の頑張りや工夫を感じて、すごいと思ったり憧れたりするように、自分達で考え決め、力を

	工夫を感じて、すごいと思ったり憧れたりする④	合わせてきた過程を知らせたり、していることの詳細を言葉にしたり、一緒に驚いたり、子どもの感動に共感したりする。
--	------------------------	---

B【贈り物を作る】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ペン立ての模様を描く 	<ul style="list-style-type: none"> ○5歳児に喜んでもらえるように、修了に向けてのお祝いの気持ちを持ち、贈り物を作ってあげたいと思う⑥ 	<ul style="list-style-type: none"> *贈り物にふさわしい明るくきれいな配色になるように、絵具の色を選んでおく。 ◎修了に向けてのお祝いの気持ちを持ち、贈り物を作ろうと思えるように、修了式に手渡す贈り物であること、どんな気持ちで受け取ってほしいか尋ねたり一緒に考えたりする。

C【5歳児を送る言葉（送辞）を考える】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> 修了式に参加することを 5歳児との思い出を振り返ったり、気持ちを出し合ったりする 送辞の言葉をみんなで繰り返し言う 	<ul style="list-style-type: none"> ○5歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを思い出してつながりを喜ぶ。感じる③ ○5歳児に対しての感謝の気持ちを感じる③ ○5歳児に喜んでもらえるように、修了に向けてのお祝いの気持ちを持ち、送辞の言葉を心を入れて言おうとする⑥ ○送辞の言葉を、みんなで心を入れて気持ちよく伝えられるために はどうすればいいのか 考えたり考えたことや 友達が考えたことを取り入れてやってみたり しようとするように、 友達のしていることを見たり考えを聞いたり 自分で考えたりする⑦ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎5歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを思い出せるように、どんなことを一緒にしてきたかを具体的な遊びや生活、行事をあげながら一緒に思い出したり、嬉しかった気持ち、楽しかった気持ちを出し合ったりする場をもつ。 ◎感謝の気持ちを感じられるように、5歳児にもらって嬉しかったこと、ありがとうと言いたいことを、どんな場面だったかを含めて思い出す場をもち、子どもの気持ちに共感する。 *子どもたちの、5歳児への思いを修了式においてみんなで一緒に伝えられるように、送辞の言葉としてまとめる。 ◎送辞の言葉をお祝いの気持ちをもって心を入れて言おうと思えるように、修了式の場合は、5歳児に対して、みんなでおめでとうの気持ちで送り出す場であることを話したり、みんなの気持ちを集めた言葉を伝えることで、修了していく5歳児がどんな気持ちになってほしいかを尋ねたり一緒に考えたりする。 ◎どうしたらみんなで心を入れて気持ちよく伝えられるか考えられるように、考えを出している子どもの言葉を聞かせたり、考えようとしていることや言葉を覚えたり友達と息を合わせて言おうとしたりするなど必要だと思うことをしようとしていることを具体的に言葉にして褒めたりする。

	<p>○どんな年長児になりた いか考えたり頑張りたい ことを決めたりする ①</p> <p>○お祝いや感謝の気持ち がどうすれば伝わるか 考えてやってみよう とする。⑤</p>	<p>◎自分のなりたい姿や年長児になつたらしたいこ となどを思い浮かべられるように、今の年長児が してくれてたことなどを思い出している場面で、 自分達はどんな年長児になりたいと思っている かや何を頑張りたいと思っているのかを尋ねたり 、頑張ろうと思っていることに驚いたり応援し ていることを伝えたり言葉にまとめて決意を確 認したりする。</p> <p>◎伝えたい気持ちが伝わるような伝え方を考えて やってみようと思えるように、姿勢や視線に意識 を向ける言葉をかけたり、教師が年長児役をや ってみて感じたことを言葉にしたり、考えてしてい ることを出し合ったり思い出させたりする。</p>
--	--	--

D【修了式、入園式の看板を作る】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> 看板を見る 文字を読んだり 書いたり する 絵を描く 	<p>○年長児と新しい年少児 お祝いをしたいと思っ て入学式、修了式の看 板を作ろうとする。①</p> <p>○看板を作ることを知 り、看板に必要な文字 を考えたり、お祝いの 気持ちを込めて看板の 文字を書こうとしたり する⑩</p> <p>○看板の文字に興味をも ったり文字の特徴を感じ たりする⑩</p> <p>○春をイメージしたり春 を感じたりしながら春 の生き物や植物の飾り を作ることを楽しむ。 ⑨</p>	<p>*環境の構成◎教師の援助</p> <p>◎年長児と新しい年少児お祝いをしたいと思っ て看板を作りに向かえるように、入学式、修了式が あることや、それぞれの式の意味や入学式や修了 式に立てる看板があることを伝えたり、昨年度今 年の年長児が作っていた看板を見せたり今年ほど うするか話す機会を作ったりする。</p> <p>◎入学式、修了式に立てるための看板を作ることを 知り、看板に必要な文字を考えたり、お祝いの気 持ちを込めて文字を書こうとしたりするように、 昨年度の看板を見て、文字の意味を伝えたり、何 文字含まれているか数えたり、子どもの名前と同 じ文字が使われていることを言葉にしたりする。 *文字に興味をもったり書いたり書いた文字を並 べてみてそれぞれの文字の特徴を感じたりする よう、何度も試せる十分な紙を用意したり手本の 文字や昨年度の看板の写真を見られるように置 いておいたりしておく。 *春をイメージできるよう、春の生き物や植物が載 っている本を飾っておく。 ◎春をイメージしたり春を感じたりしながら飾り 作りを楽しめるよう入学式や修了式が春にある ことを伝えたり、春はどんな季節か尋ねたり、そ のイメージに合わせて作っている飾りの工夫し ているところを褒めたりする。</p>

E【うさぎの世話を引き継ぐ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<p>もうすぐ5歳 児が修了し、 自分達が年</p>	<p>○もうすぐ5歳児が修了 し、自分達が年長組に なることを知り、大き</p>	<p>◎大きくなった自分を感じられるように、もうすぐ 4歳のクラスが終わることや、同時に5歳児が修 了していくことを話したり、自分達が幼稚園で一</p>

<p>長組になることを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> 5歳児がうさぎの世話を教えてくれることを知る 5歳児がしているうさぎの世話を見たり、教えてもらったりする 	<p>くなった自分を感じる②</p> <p>○うさぎの世話の仕方を知りたい、できるようになりたいと思う①</p> <p>○うさぎの世話について関心をもつ⑧</p> <p>○5歳児がしていることを見て、今までの頑張りに気付く④</p> <p>○うさぎの居心地がよくなるための世話の仕方を知らせてもらい、しようとする⑧</p> <p>○うさぎの世話を教えてくれる5歳児の優しさを感じる④</p> <p>○うさぎの世話の仕方を教えてもらって世話の仕方を知り、自分達ができることに自信をもつ③</p>	<p>番大きい組になることを話したり、教師が思う今までの子どもの頑張りを話したり、振り返ることで子どもが感じている気持ちに共感したりする。</p> <p>◎自分達でうさぎの世話をしあげたい、うさぎの世話ができるようになりたいと思えるように、幼稚園のうさぎについて話したり、うさぎがいつも元気であるのは誰が世話をしているからか尋ねたり、5歳児がいつも世話をしてくれていたことを知らせたり、もうすぐ5歳児が幼稚園を修了していくこと、自分達が幼稚園で一番大きい組になることを話したりする。</p> <p>◎うさぎの世話について関心をもてるように、教師自ら関心をもって見る姿を見せたり、5歳児が世話をしているところを一緒に見たり、どんなことを何のためにしているか具体的に言葉にして聞かせたりする。</p> <p>◎5歳児の今までの頑張りに気付いたり、すごいと思ったりするように、うさぎの世話をしている5歳児の様子を一緒に見ながら、うさぎのために必要なことを考えながらしているところや、毎日しているからうさぎが元気でいられることを話したり、世話の手順をよく考えているところや手際よさや丁寧にしてしている様子を伝えたりする。</p> <p>*互いのしていることが見やすく、世話の仕方について話を聞いたり尋ねたりしやすいように、5歳児、4歳児ともに、4、5人ずつのグループを作り、1グループずつ組み合わせる。</p> <p>◎世話の仕方について、4歳児が実際にやることで分かっているように、5歳児が4歳児の傍について一緒にするところを見守り、5歳児に対して、何のためにしているのかを4歳児に伝えることや、4歳児が自分でできるようにさせてあげてを促したりする。</p> <p>◎5歳児の優しさを感じられるように、4歳児を気遣いながら話しているところや、丁寧に教えてくれているところなどを言葉にする。</p> <p>◎うさぎの世話の仕方を教えてもらって世話の仕方を知り、自分達ができることに自信をもてるように、教えてもらう前と比べてどうなったか尋ねたり、できるようになった姿を具体的に言葉にしたりする。</p>
--	---	--

F【修了式に参加する】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> 送る言葉（送辞）を言う 贈り物を渡す 	<p>○お別れ会修了式に参加して、お祝いの気持ちを伝えようと思う⑤</p> <p>○お別れ会での自分達の</p>	<p>◎お別れ会修了式で、お祝いの気持ちを伝えようと思えるように、もうすぐお別れであることを伝えたり、今まで4歳児として、5歳児のために準備してきたことを振り返ったりする。</p> <p>◎お別れ会で年長児に喜んでもらったり、励ましの</p>

	<p>頑張りを感じたり、年長児からの励ましてもらったりして誇らしく思う②</p>	<p>言葉をもったりして嬉しく思ったりするように、何度も頑張って練習してきた送る言葉を言えたことや、5歳児に贈り物を渡して喜んでもらったことなど、お別れ会修了式を振り返る場をもつ。</p>
--	--	---

G【5歳児の環境を体験する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5歳児の園庭に行き行って遊ぶ ・ 5歳児の保育室を見せてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ○もうすぐ年長組になる自分を感じ、嬉しく思う② ○4月から年長組になることを楽しみにする① 	<p>◎もうすぐ年長組になる自分を感じ、嬉しく思えるように、5歳児の園庭で遊ぶ機会をもつ。</p> <p>◎4月から5歳児になることを楽しみにできるよう、年長組の園庭と一緒に遊びながら、固定遊具の楽しさを共有したり、保育室にあるものを一緒に見ながら、年中組の保育室との違いを尋ねたり、園庭の梅を見て梅干し作りをすることを知らせたりして、楽しみな気持ちに共感する。</p>